

事務事業名	情報セキュリティ管理事業	事務事業No.	60304000259	所属課	企画課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成19年度に桜川市情報セキュリティポリシーを策定した。 平成22年度11月に総務省の地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドラインが一部改定され、それに伴い平成23年3月に桜川市情報セキュリティポリシーも改定した。 職員及び嘱託臨時職を対象にして、平成20年度からは毎年e-ラーニングによる情報セキュリティ研修を開催している。 ウイルス対策ソフト、資産管理ソフト並びにWEBフィルタリングを行い、セキュリティ対策を行う。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 近年電子メールを偽って送信したり、ホームページを改竄するなど特定の事業者や団体を狙った標的型攻撃が増加している。この為、情報セキュリティ対策として人的対策、物理的対策を行う必要がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持 内部情報系パソコンの貸与を受けて、インターネットからの情報収集や発信等での利用が高まる中、日々進化するインターネットからの様々な危険性を全ての職員がに効率的に理解させる為に職員研修を通じて絶えず注意喚起を行う必要がある。 e-ラーニングに加えて、職員の情報セキュリティ意識改革のための研修を実施する。	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 情報システムを扱うルール作りとその実践は、現代の行政事務事業の中で必須となっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 業務システムのセキュリティ対策を事業主体として必要な取り組みである。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある セキュリティに係る脅威は常に新しい形で出現するので、定型的な対応では対応に洩れが発生しやすく、危険性が拡大する。 また、外部からの攻撃に加えて、内部からの攻撃に強硬化する必要がある。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 セキュリティ脅威に対応出来なくなり、ウイルス感染や情報漏えい事故等が強く懸念される。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に手段無し
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最低限の業務量で実施している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 正確な住民情報を保護し、かつ情報流出事故を防止する対策は、住民サービスとして公平に作用している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) e-ラーニング研修を実施したが、人的セキュリティ対策を向上するためにも研修内容等に变化を持たせてセキュリティ対策を向上する必要がある。																	
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下		○	
		コスト																	
		削減	維持	増加															
成果	向上																		
	維持 低下		○																
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																	

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---